

2026 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社モバイルファクトリー
 代表者名 代表取締役 宮脇 裕二
 (コード：3912 東証スタンダード)
 問合せ先 常務執行役員 佐藤 舞子
 (TEL. 050-1743-6211)

個別業績の前期実績との差異及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2025 年 12 月期の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

あわせて、本日開催の取締役会におきまして、2025 年 12 月 12 日付で公表いたしました 2025 年 12 月期の期末配当予想を修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025 年 12 月期の通期個別業績の前期実績との差異について

(1) 差異の内容 (2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 期 実 績 (A)	百万円 3,317	百万円 1,038	百万円 1,044	百万円 709	円 銭 93.58
当 期 実 績 (B)	3,427	1,091	1,107	451	62.59
増 減 額 (B - A)	109	52	63	△257	—
増 減 率 (%)	3.3	5.1	6.1	△36.3	—

(2) 差異の理由

当事業年度の業績につきましては、他社 IP とのコラボイベント、レイドイベント・バトルイベント等のゲーム内イベントの実施や移動系商材の好調が継続したこと等が寄与し、売上高は前事業年度を上回りました。この増収効果により、税引前当期純利益までの各利益段階において前事業年度を上回りました。

一方で、当期純利益につきましては、繰延税金資産取り崩しの影響により、前事業年度を下回る結果となりました。当社は、個別決算において、子会社株式に係る将来減算一時差異については、予測可能な将来の期間に解消される可能性が高く、当該将来減算一時差異に係る繰延税金資産に回収可能性があると判断し、繰延税金資産を計上してまいりました。しかしながら、当該将来減算一時差異のスケジューリングを慎重に見直した結果、当該将来減算一時差異が予測可能な将来の期間に解消される見込みが低下したと判断するに至りました。このため、当事業年度において、当該将来減算一時差異に係る繰延税金資産 304 百万円を取り崩し、法人税等調整額に同額を計上した結果によるものです。

2. 配当予想の修正（増配）について

（1）修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想 (2025 年 12 月 12 日発表)	—	23 円 00 銭	43 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	—	24 円 00 銭	44 円 00 銭
当 期 実 績	20 円 00 銭	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024 年 12 月 期)	0 円 00 銭	37 円 00 銭	37 円 00 銭

（2）修正の理由

当社は、総還元性向 60%を目標に掲げ、累進配当を前提に、配当性向 40%以上又はDOE7%以上のいずれか高い水準での配当を実施するとともに、配当金総額との差分については、業績、財政状態及び株価水準等を総合的に勘案し、自己株式の取得を行うことを株主還元方針としております。

当期の連結業績につきましては、売上高が 2025 年 12 月 12 日に公表いたしました前回発表予想を上回って好調に推移いたしました。2025 年 12 月期通期連結業績の実績および財務状況等を総合的に勘案した結果、前回発表予想から 1 株当たり 1 円増配し、期末配当金を 24 円（年間 44 円）に修正することといたしました。

以 上